

松下ゆきよし

Vol. 2

〈発行日〉
平成27年11月15日

県政活動レポート

発行責任者／愛媛県議会議員 松下行吉 連絡先／〒791-2141 伊予郡砥部町岩谷口135 TEL (089) 969-3605

愛媛県議会定例会（平成27年9月）の概要

第342回愛媛県議会定例会が、

9月22日から10月9日まで29日間の会期で開催されました。今9月議会では、伊方原発再稼働について賛否

それぞれの立場で、意見が戦わされ、議会としては再稼働を容認する決議を賛成多数で可決しています。

議案の概略は、補正予算などを含む16議案を可決、平成26年度決算の認定などに関する6議案は、特別委

員会で継続審査することとしました。また、意見書1、決議1を否決しています。そのほかに報告6件がありました。

可決議案の内訳は、補正予算1、条例2、人事1、決議1、意見書4、その他7（財産処分や契約関係など）です。

審査した請願は64件で、そのうち伊方原発再稼働に関する60件の請願

は、早期稼働を求める請願4件を採択、再稼働に反対の請願56件を不採択としました。また、安全保障関連法案の廃案を求めるなどの4件の請願を不採択としています。

1 補正予算

予算は、一般会計で98億9,702万円の増額補正でした。南海トラフ地震や集中豪雨災害等に備え、県民の安全・安心を確保するため、県独自の防災・減災対策（道路や

9月補正予算

安全・安心確保対策の推進	44億5,000万円
(1) 県単独緊急防災・減災事業	
① 緊急輸送道路等の整備	25億1,000万円
② 河川、海岸、港湾施設の改修	7億9,820万円
③ 土砂災害を防止する砂防施設の整備	6億8,800万円
④ かけ崩れ防災対策の促進	2億380万円
⑤ 河川の氾濫を防止する河床掘削の推進	2億5,000万円
当面する課題への対応	25億7,299万円
1. 産業の振興	23億8,924万円
(1) 農林水産業の振興 5項目	3,586万円
① キウイフルーツ全伐採農家の営農再開に向けた改植・施設整備への支援	1,130万円
② 6次産業化商品の認知度向上のための販売店舗の開設 ほか	1,000万円
(2) 商工業の振興 7項目	22億217万円
① 中小企業者の資金繰り支援（融資枠50億円拡大）	20億円
② プロフェッショナル人材の活用による企業の経営革新の促進	2,300万円
③ 「スゴ技」ブランドの知名度向上のための情報発信 ほか	7,275万円
(3) 観光の振興 6項目	1億1,430万円
① 自転車新文化の推進に向けた調査・検討、サイクリングコースガイドマップの作成	3,977万円
② ラッピング列車や大都市圏の公共交通機関を活用した誘客促進 ほか	3,993万円
2. 移住等の促進 3項目	8,683万円
① 移住情報のビッグデータ化や移住フェア等の実施による本県への移住促進	6,488万円
② 生活衛生関係営業者の定着促進のための社会実験	1,000万円
③ 愛媛型CCRCの導入に向けた調査・検討 ほか	1,195万円
3. 教育・スポーツの充実 4項目	1億348万円
① 高校生の地域への定着・回帰を目指したモデル的取組みの実施	4,727万円
② 今治工業高校への造船コース新設【実習棟の設計、3次元CADシステムの整備など】 ほか	5,052万円
4. 福祉の充実、女性の活躍推進	3,035万円
① 障害者授産製品の認知度向上のための販売促進イベントの開催 ほか	1,670万円

河川、砂防施設等の整備)を積極的に推進するとともに、かいよう病被害を受けたキウイフルーツ生産者の営農再開支援、今治工業高校への造船コース新設のほか、国交付金を活用した地方創生の先行実施など、当面する課題に対応しています。

一般会計は累計で6,491億7,559万円(前年同期比4.12パーセント増)となっています。

2 伊方原発3号機の再稼働について

9月議会の焦点は、県議会が伊方原発3号機の再稼働についてどのような判断をするか、ということでした。議会の判断は、次のとおり示されました。

▼10月6日県議会エネルギー・危機管理特別委員会で、請願の採決

再稼働に賛成の請願4件 採択

再稼働に反対の請願56件 不採択

▼10月9日の本会議では、エネルギー・危機管理特別委員会の採決のとおり議決

▼10月9日の本会議に自民党から「伊方原発3号機の再稼働に関する決議書」が提出され賛成多数で



議決。賛成は、自民(28)、愛媛維新(6)、公明(3)、県民連合(1)、無党派(2)です。

私も、本会議では再稼働賛成の立場で、採決に加わっています。

この後、10月26日中村知事が記者会見し、安全協定に基づく伊方3号機の事前協議を了解(同意)すると発表しています。

前の県政活動レポートにも書いていますが「地元の見解(同意)は法律で必要とされたものではなく、民主的な手続きとして求められている」

ものです。また、議会の判断は、知事の判断材料のひとつであって、絶対に必要なものではありません。議会の中でも、賛成、反対それぞれの意見があり、全会一致で「再稼働賛成」となった訳でもありません。

知事が会見の中で言っているように、「(原発は)ある方がいいか、ない方がいいかと問われたら、ない方がいい」ものです。しかし、「日本の国のエネルギー事情を鑑みた場合、原子力発電所に替わり得る、コスト、出力、安定供給という3条件が満たされた代替エネルギーが見つかるまでは、その時代、その時点での最新の知見に基づく安全対策を施す中で、向き合っていかなざるを得ない」ものなのです。

これから、廃炉も含み、原発との長い戦いがはじまったといえます。

3 その他の議案

県営砥部団地(第四期)新築工事請負契約について、次のとおり変更契約の議案があり可決されました。

【請負金額を以下のとおり変更】

8億7,048万円

↓8億7,716万9千円

【工事概要】

鉄筋コンクリート造 地上10階建
竣工 28年4月30日(予定)

請負人 愛媛 松山・大和共同企業体
代表者 愛媛土建株式会社

構成員 松山土建株式会社

構成員 大和コンストラクション

株式会社

4 議員提出の議案

議員提出の議案は、意見書5件、決議2件があり、可決5、否決2となっています。

※以下、私は「○」は賛成、「×」は反対しています。

【可決された議案】

①認知症への取組の充実強化に関する意見書(○)

今後の認知症高齢者の増加等に対応するため、認知症への理解の一層の促進、当事者や家族の生活を支える体制の整備、予防・治療法の確立など、総合的な取組を要望

②訪日外国人旅行者の誘客促進に関する意見書(○)

地方が特色を活かしながら国際競争力のある観光地づくりを進める

ための支援策を講じるとともに、海外に向けて戦略的PRを実施するなど、日本の魅力を発信するビジット・ジャパン事業を拡大することなどを要望

③畜産農家の経営安定対策強化を求める意見書(○)

国際情勢に左右されず、畜産・酪農経営が中長期的に経営を見通せる措置を講じるよう要望

④森林・林業政策の推進を求める意見書(○)

平成28年度を始期とする「森林・林業基本計画」に、主伐・再造林の推進をはじめとする資源の循環利用に向けた具体的政策を反映させる等、地域林業における課題解消に向けた新たな政策の確立を図ることを要望

⑤伊方原発3号機の再稼働に関する決議(○)

賛否両論の議論があったが、県議会としては、伊方発電所3号機の安全性については、国及び県によって厳正に審査、確認されており、そのことを踏まえたいうえで、伊方発電所3号機を再稼働することについても、県民の暮らしや産業活動に必須である電力の安定か

つ安価な供給を確保としたものとするため、さらには我が国のエネルギー情勢や地球温暖化対策等を踏まえ、必要性が認められるものと判断した。

【否決された議案】

⑥憲法違反の安全保障関連法の廃止を求める意見書(X)

⑦伊方原発3号機再稼働に関し「地元合意」を求めるにあたって適切な対応を求める決議(X)

5 報告

9月議会では6件の報告があり、うち4件が財政健全化法に基づく健全化判断比率等の報告でした。

【普通会計】

実質公債費比率 13.2%

(対前年度0.3ポイント改善)

※18%が危険ライン。25%を超えると起債するのに制限が入ります。

将来負担比率 158.0%

(対前年度8.1ポイント改善)

※400%が危険ライン

研修報告

東京中央卸売市場 大田市場

11月6日(金)、早稲温州みかん初競りの知事トップセールスに参加し、愛媛の温州みかんをPRしてきました。PRには、JA全農えひめの岡本健治会長はじめ生産者代表も駆けつけ、愛媛県が一体となって取り組んでいきます。

初競りの後、生産関係者と市場



左から私、岡本会長、泉東京青果取締役部長



えひめ温州みかんの初競りの様子。こういった風景も減ってきているとのことで、市場の近代化も進んでいるようです。

関係者との意見交換会があり、東京青果株式会社の泉取締役部長から近況分析などを聞きました。市場からは、「(他産地も含め)今年の温州みかんは、レベルが高い」との評価をいただいています。また、市場関係者も、農家の後継者不足を心配しており、生産者あつての市場だという話を話していたのが印象に残りました。

『「歴史認識」とは何か 対立の構図を超えて』

中公新書 2015年7月25日発行

著者：大沼保昭 聞き手：江川紹子



近隣の国から教科書や靖国参拝など国内問題をとやかく言われ、敗戦国はいかなあとも常々思っていました。この本を読んだ、少し気持ちの整理ができた気がします。

著者は、「慰安婦」や東京裁判などの問題に取り組んできた国際法学者。先の戦争を日本の「負の歴史」と考えていますが、「そういう負の歴史は、なにも日本に限らない。多かれ少なかれ、どの国ももっているのです。ただ、それに正面から向かい合うことができるかどうか。それこそが、民族・国家としての矜持の問題ではないでしょうか」という箇所、また、「どの国もやっていることだから日本は悪くない、と居直る態度は、あまりにも矜持から遠い。英仏など欧米諸国が果たしていない植民地支配責任を提起し、日本の取り組みが先駆となることを指摘し、「日本は、欧米が陥っている傲慢さからすくは免れている、ともいえるのです。」のくだりには、心から共感できます。



松下ゆきよしの行動・政策

① 地域に活力を!! >>> 産業

- ◆中山間地農業の振興
- ◆県産材使用補助制度の充実（住宅や地域集会所など）
- ◆CLT（直交集成材）の普及促進
- ◆砥部焼振興と窯業技術センターの機能強化

② 安全・安心を!! >>> 暮らし

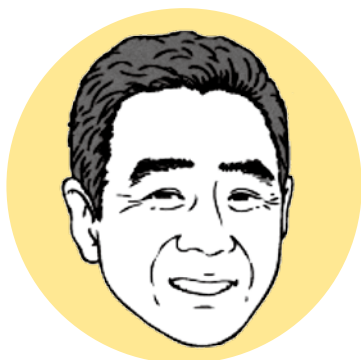
- ◆救急医療体制の充実
- ◆災害防止対策の充実（災害危険箇所の詳細調査）
- ◆災害時避難所設備の充実
- ◆主要地方道伊予川内線の渋滞緩和

③ 次世代に光を!! >>> 人づくり

- ◆地域に合った子育て施設の充実（認定子ども園や小規模保育事業など）
- ◆子ども医療費無料化の支援
- ◆スポーツを通じた人づくり
- ◆女性団体の活動支援

④ 誇れる愛媛を!! >>> 環境

- ◆ごみの3R（発生抑制・再利用・再生利用）促進
- ◆公共施設の新エネルギー利用促進



愛媛県議会議員

松下行吉 まつした ゆきよし

〒791-2141 愛媛県伊予郡砥部町岩谷口 135

TEL 089-969-3605 FAX 089-969-3606

Email : matsushita31@iyo.ne.jp

<http://www.iyo.ne.jp/matsushita31/>